

福祉用具プランナーが作成する  
福祉用具サービス計画

床ずれ防止編

---

# 床ずれ防止用具製造メーカーによる 選定理由および留意事項例

---

[ 別 冊 ]

## 実際のメーカーによる商品の選定理由留意事項の例

「－福祉用具プランナーが作成する－福祉用具サービス計画（床ずれ防止編）」18～19ページのフローチャートにより選択された商品の選択理由留意事項の例を紹介します。

### 〈いわしや医療株式会社〉床ずれ防止用具 選定の目安

選択番号	製品名
①	メディマット

選択番号	製品名	選択理由		留意事項
①	メディマット	使用者における選定理由	優れた体圧分散効果および優れた透湿性効果により、床ずれの予防及び改善の効果が期待できます。	<p>1：通気性透湿性がない防水シーツの使用はムシの原因となるため、できるだけ使用しないでください。</p> <p>2：紙おむつ尿取パットおむつカバーなどは、通気性透湿性があるものをごできるだけ使用してください。</p> <p>3：優れた体圧分散効果があるとはいえ、体位変換は必要に応じて行ってください。</p>
			長時間の臥床あるいは座位での使用において、局所の痛み軽減の効果が期待できます。	
			マットレスの優れた透湿性により、発汗量の多い方でも長時間 爽やかに過ごすことが期待できます。	
			痛みの軽減や安定した姿勢保持などにより、安眠が期待できます。	
			電気毛布や電気アンカ、湯たんぽの使用が可能で、寒い時期には、より暖かく蒸れずに生活することができます。	
		介護者における選定理由	マットレスに優れた透湿性があるため、下着やシーツの交換、汗拭きなどの作業回数の削減が期待できます。	
		優れた防水性撥水性により汚れが付き難く、また容易に衛生処理出来ることから洗濯コストの削減や防水シーツなどの介護用品購入費の削減が期待できます。		
		伸縮性の小さいカバーと特殊ウレタンフォームの構成により、マットレス全体の沈み込みが少ないので使用者の体位変換や移動の介助、オムツ交換などの介護作業が楽に行えます。		
使用者の痛み軽減により、痛みを訴えて夜中に起こされることが減り、使用者の安眠が期待できます。				

## 〈株式会社 ケーブ〉 床ずれ防止用具 選定の目安

選択番号	製品名	
①	フローラ S、アイリス2	
②	自力体位変換 あり	ブルーム、キュオラ、ディンプルマットレス
	自力体位変換 なし	ブルーム、キュオラ、ディンプルマットレス、エアドクター、アクティ、トライセル、ネクサス
③	ブルーム、キュオラ、ディンプルマットレス、トライセル、ネクサス、ビッグセルEx、ビッグセルインフィニティ	
④	ネクサス、ビッグセルEx、ビッグセルインフィニティ	

### 『床ずれ防止用具』 選定の関連キーワード

No.	関連キーワード<機能・構造>	解説
1	高機能タイプ（体圧分散性能）	マットレスの形状や構造などを工夫することで体圧分散性能を向上させているタイプです。
2	圧切替（通常モード）	エアセルが時間により凹凸の動きを繰り返し、身体の保持する部分を変えて部分的な圧迫を解放する機能です。
3	底づき防止構造	身体状況や体位などにより局所的に圧迫が集中した際、マットレスが底づきするのを防止する機能・構造です。
4	静止 / 微波動モード	マットレスの圧切替の動きを小さくしたり静止型にするモードです。圧切替の動きが気になる方に使用します。"
5	リハビリ / クイックハードモード	リハビリやおむつ交換などの介助の際に、マットレスを硬くして安定させるモードです。
6	背上げ対策機能・構造	食事やその他ケアなどで、ベッドで長時間背上げをした姿勢を保つ場合に、殿部の底づきを防止したり、背上げ時に発生するずれ力を緩和する構造・機能です。"
7	拘縮モード	重度の下肢拘縮がある方に対して使用します。エアセルの内圧を若干高めて、過度に身体が埋り込むことを防ぎ、局所の圧力集中を軽減するモードです。
8	むれ対策機能	マット内にエアを循環させ、熱や湿気をマットの外に排出する機能です。
9	リプレースメントタイプ	マットレスをベッドや床に直接置いて使用するタイプです。
10	オーバーレイタイプ	ベッドマットレス等の上に置いて使用するタイプです。
11	停電対策機能	停電時にマットレスの底づきを防止する機能です。
12	キーロック	マットレスの設定をロックする機能です。認知症の方など、誤操作の心配がある際に使用します。

● 静止型

選択番号	製品名	関連キーワード	選定理由	留意事項
①	アイリス2	No.10	<p>硬いマットレスでは腰やかかとの皮膚が赤くなるため、適度な体圧分散性能がありながら寝返りのしやすいマットレスを選定します</p> <p>床ずれがみとめられますが、自力での動きを妨げないよう、適度な体圧分散性能がありながら安定感のあるマットレスを選定します</p> <p>寝返りの回数が減っているため、適度な体圧分散性能がありながら安定感のあるマットレスを選定します</p> <p>リハビリをベッド上で実施されるため、ずれ・摩擦のリスクに備えて適度な体圧分散性能のあるマットレスを選定します</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ロゴのプリントがある方を上にして、必ずマットレス等を下に敷いてご使用ください</li> <li>● ご使用の際は、必ずベッドにサイドレールを取りつけてください</li> <li>● マットレスの上で端座位や移乗する際には、必ず第三者の立ち会いのもと行ってください</li> <li>● 専用カバーを被せた状態で必ずご使用ください</li> <li>● 突起物のある場所にマットレスを敷いて使用しないでください</li> <li>● ストープなどの火に近づけないでください</li> <li>● ご使用される前に取扱説明書をお読みください</li> </ul>
①	フローラ /S"	No.8 No.9	<p>硬いマットレスでは腰やかかとの皮膚が赤くなるため、適度な体圧分散性能がありながら寝返りのしやすいマットレスを選定します</p> <p>床ずれがみとめられますが、自力での動きを妨げないよう、適度な体圧分散性能がありながら安定感のあるマットレスを選定します</p> <p>寝返りの回数が減っているため、適度な体圧分散性能がありながら安定感のあるマットレスを選定します</p> <p>リハビリをベッド上で実施されるため、ずれ・摩擦のリスクに備えて適度な体圧分散性能のあるマットレスを選定します</p> <p>発汗が多く、ムレによって皮膚がふやけているため、通気性のあるマットレスを選定します</p> <p>ベッドの端に座る際に足元が接地して安定するよう、薄型のマットレスを選定します</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ロゴのプリントがある方を上にして、頭部・腰部・足部を接続ファスナーで固定した状態でご使用ください</li> <li>● ご使用の際は、必ずベッドにサイドレールを取りつけてください</li> <li>● マットレスの上で端座位や移乗する際には、必ず第三者の立ち会いのもと行ってください</li> <li>● 専用カバーを被せた状態で必ずご使用ください</li> <li>● 突起物のある場所にマットレスを敷いて使用しないでください</li> <li>● ストープなどの火に近づけないでください</li> <li>● ご使用される前に取扱説明書をお読みください</li> </ul>
②③	ブルーム	No.3 No.9	<p>硬いマットレスでは腰やかかとの皮膚が赤くなるため、適度な体圧分散性能がありながら寝返りのしやすいマットレスを選定します</p> <p>床ずれがみとめられますが、自力での動きを妨げないよう、適度な体圧分散性能がありながら安定感のあるマットレスを選定します</p> <p>寝返りの回数が減っているため、適度な体圧分散性能がありながら安定感のあるマットレスを選定します</p> <p>リハビリをベッド上で実施されるため、ずれ・摩擦のリスクに備えて適度な体圧分散性能のあるマットレスを選定します</p> <p>背を上げた状態で過ごされる時間があるため、背上げの姿勢でもお尻の部分が底づきせず、背中の圧迫感も軽減する構造のマットレスを選択します</p> <p>ベッドの背上げ機能を使用する頻度が高いため、背中の圧迫感や身体のずれに対応したマットレスを選択します</p> <p>床ずれ発生のリスクは高い状態ですが、エアマットレスの使用のご希望がないため、体圧分散性能の高い静止型のマットレスを選定します</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ロゴのプリントがある方を上にしてご使用ください</li> <li>● ご使用の際は、必ずベッドにサイドレールを取りつけてください</li> <li>● マットレスの上で端座位や移乗する際には、必ず第三者の立ち会いのもと行ってください</li> <li>● 専用カバーを被せた状態で必ずご使用ください</li> <li>● 突起物のある場所にマットレスを敷いて使用しないでください</li> <li>● ストープなどの火に近づけないでください</li> <li>● ご使用される前に取扱説明書をお読みください</li> </ul>

選択番号	製品名	関連キーワード	選定理由	留意事項
②③	キュオラ	No.1 No.3 No.8 No.9	硬いマットレスでは腰やかかとの皮膚が赤くなるため、適度な体圧分散性能がありながら寝返りのしやすいマットレスを選定します	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ロゴのプリントがある方を上にご使用ください</li> <li>● ご使用の際は、必ずベッドにサイドレールを取りつけてください</li> <li>● マットレスの上で端座位や移乗する際には、必ず第三者の立ち会いのもと行ってください</li> <li>● 専用カバーを被せた状態で必ずご使用ください</li> <li>● 突起物のある場所にマットレスを敷いて使用しないでください</li> <li>● ストープなどの火に近づけないでください</li> <li>● ご使用される前に取扱説明書をお読みください</li> </ul>
			床ずれがみとめられますが、自力での動きを妨げないよう、適度な体圧分散性能がありながら安定感のあるマットレスを選定します	
			寝返りやご自身の動きやすさを保てるよう、少しの力でも動きやすい反発性の高い素材のマットレスを選定します	
			寝返りの回数が減っているため、適度な体圧分散性能がありながら安定感のあるマットレスを選定します	
			発汗が多く、ムレによって皮膚がふやけているため、通気性のあるマットレスを選定します	
			背中がムレが気になられるため、通気性に優れ、湿気を逃がす効果の高いマットレスを選定します	
			リハビリをベッド上で実施されるため、ずれ・摩擦のリスクに備えて適度な体圧分散性能のあるマットレスを選定します	
			ベッドの端に座る際に、足元が接地しやすい厚みをおさえたマットレスを選定します	
			ベッドの端に座る際に移動の動作がしやすいように、両サイドのフレームに段差がない安定感のあるマットレスを選定します	
			背を上げた状態で過ごされる時間があるため、背上げの姿勢でもお尻の部分が底つきせず、背中の圧迫感も軽減する構造のマットレスを選択します	
ベッドの背上げ機能を使用する頻度が高いため、背中の圧迫感や身体へのずれに対応したマットレスを選択します				
床ずれ発生のリスクは高い状態ですが、エアマットレスの使用をご希望がないため、体圧分散性能の高い静止型のマットレスを選定します				
②③	ディンプルマットレス	No.1 No.3 No.9	硬いマットレスでは腰やかかとの皮膚が赤くなるため、適度な体圧分散性能がありながら寝返りのしやすいマットレスを選定します	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カバーまたはタグの「足側」の表示に従って使用方向を確定し、ロゴのプリントがある方を上にして、ご使用ください</li> <li>● ご使用の際は、必ずベッドにサイドレールを取りつけてください</li> <li>● マットレスの上で端座位や移乗する際には、必ず第三者の立ち会いのもと行ってください</li> <li>● 専用カバーを被せた状態で必ずご使用ください</li> <li>● 突起物のある場所にマットレスを敷いて使用しないでください</li> <li>● ストープなどの火に近づけないでください</li> <li>● ご使用される前に取扱説明書をお読みください</li> </ul>
			床ずれがみとめられますが、自力での動きを妨げないよう、適度な体圧分散性能がありながら安定感のあるマットレスを選定します	
			寝返りの回数が減っているため、適度な体圧分散性能がありながら安定感のあるマットレスを選定します	
			リハビリをベッド上で実施されるため、ずれ・摩擦のリスクに備えて適度な体圧分散性能のあるマットレスを選定します	
			ベッドの端に座る際に姿勢が安定するように、マットレスの中央部は適度な体圧分散性能があり、両サイドは硬めに補強されたマットレスを選定します	
			背を上げた状態で過ごされる時間があるため、背上げの姿勢でもお尻の部分が底つきせず、背中の圧迫感も軽減する構造のマットレスを選択します	
			ベッドの背上げ機能を使用する頻度が高いため、背中の圧迫感や身体へのずれに対応したマットレスを選択します	
			床ずれ発生のリスクは高い状態ですが、エアマットレスの使用をご希望がないため、体圧分散性能の高い静止型のマットレスを選定します	

● 圧切替型

選択番号	製品名	関連キーワード	選定理由例	留意事項
②	エアドクター	No.2 No.10	<p>介護者の方の休息時間の確保が必要なため、圧切替タイプのエアマットレスを選定します</p> <p>仙骨部に床ずれがみられるため、体重設定で適切な圧管理ができるタイプのエアマットレスを選定します</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必ずマットレス等を下に敷いてご使用ください</li> <li>ご使用の際は、必ずベッドにサイドレールを取りつけてください</li> <li>マットレスの上で端座位や移乗する際には、必ず第三者の立ち会いのもと行ってください</li> <li>専用カバーは必ず装着してご使用ください</li> <li>設定体重以上の方は、底づきがないことを確認してご使用ください</li> <li>送風チューブを束ねたり専用マットの下に巻き込まないでください</li> <li>専用ポンプの電源コードを無理に引っ張ったり、傷つけたりしないでください</li> <li>コンセントからプラグを抜く時には、必ず電源プラグを持って抜いてください</li> <li>ご使用される前に取扱説明書をお読みください</li> </ul>
②	アクティ	No.2 No.5 No.10	<p>介護者の方の休息時間の確保が必要なため、圧切替タイプのエアマットレスを選定します</p> <p>仙骨部に床ずれがみられるため、体重設定で適切な圧管理ができるタイプのエアマットレスを選定します</p> <p>身体のケアや介助の際に、モードの切り替えでマットを硬く安定した床面にして介助しやすくなることができる機種を選定します</p> <p>リハビリをベッド上で実施されるため、モードの切り替えでマットを硬くして安定した床面を提供できる機種を選定します</p> <p>床面の高さを抑えてサイドレールの高さを確保するため、薄型の機種を選定します</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必ずマットレス等を下に敷いてご使用ください</li> <li>ご使用の際は、必ずベッドにサイドレールを取りつけてください</li> <li>マットレスの上で端座位や移乗する際には、必ず第三者の立ち会いのもと行ってください</li> <li>専用カバーは必ず装着してご使用ください</li> <li>設定体重以上の方は、底づきがないことを確認してご使用ください</li> <li>送風チューブを束ねたり専用マットの下に巻き込まないでください</li> <li>専用ポンプの電源コードを無理に引っ張ったり、傷つけたりしないでください</li> <li>コンセントからプラグを抜く時には、必ず電源プラグを持って抜いてください</li> <li>電源ランプが点滅するなどの症状が見られた際は、ご連絡ください</li> <li>ご使用される前に取扱説明書をお読みください</li> </ul>
②③	トライセル	No.2 No.3 No.6 No.10	<p>介護者の方の休息時間の確保が必要なため、圧切替タイプのエアマットレスを選定します</p> <p>仙骨部に床ずれがみられるため、体重設定で適切な圧管理ができるタイプのエアマットレスを選定します</p> <p>自力での寝返りが困難で床ずれの防止・ケア環境の整えが必要なため、2層式エアセルで底づきを回避する構造をもつエアマットレスを選定します</p> <p>背を上げた姿勢で過ごす時間があるため、背上げ姿勢でのお尻の部分の底づきと身体のずれ対策のモードを搭載した機種を選定します</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必ずマットレス等を下に敷いてご使用ください</li> <li>ご使用の際は、必ずベッドにサイドレールを取りつけてください</li> <li>マットレスの上で端座位や移乗する際には、必ず第三者の立ち会いのもと行ってください</li> <li>専用カバーは必ず装着してご使用ください</li> <li>設定体重以上の方は、底づきがないことを確認してご使用ください</li> <li>送風チューブを束ねたり専用マットの下に巻き込まないでください</li> <li>専用ポンプの電源コードを無理に引っ張ったり、傷つけたりしないでください</li> <li>コンセントからプラグを抜く時には、必ず電源プラグを持って抜いてください</li> <li>電源ランプが点滅するなどの症状が見られた際は、ご連絡ください</li> <li>ご使用される前に取扱説明書をお読みください</li> </ul>

選択番号	製品名	関連キーワード	選定理由例	留意事項
②③④	ネクサス	No.1 No.2 No.3 No.4 No.5 No.6 No.8 No.9 No.11 No.12	介護者の方の休息時間の確保が必要なため、圧切替タイプのエアマットレスを選定します	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ご使用の際は、必ずベッドにサイドレールを取りつけてください</li> <li>● マットレスの上で端座位や移乗する際には、必ず第三者の立ち会いのもと行ってください</li> <li>● 専用カバーは必ず装着してご使用ください</li> <li>● 設定体重以上の方は、底つきがないことを確認してご使用ください</li> <li>● 送風チューブを束ねたり専用マットの下に巻き込まないでください</li> <li>● 専用ポンプの電源コードを無理に引っ張ったり、傷つけたりしないでください</li> <li>● コンセントからプラグを抜く時には、必ず電源プラグを持って抜いてください</li> <li>● 注意ランプが点滅するなどの症状が見られた際は、ご連絡ください</li> <li>● ご使用される前に取扱説明書をお読みください</li> </ul>
			仙骨部などに床ずれがみられるため、体重設定で適切な圧管理ができるタイプのエアマットレスを選定します	
			自力での寝返りが困難で床ずれの防止・ケア環境の整えが必要なため、2層式エアセルで底つきを回避する構造をもつエアマットレスを選定します	
			体重が低体重の方も対象範囲とし、適切な圧管理ができる機種を選定します	
			体重による底つきの回避が必要であるため、体重設定の上限範囲が広く、二層式エアセルで底つきに対応した機種を選定します	
			背を上げた姿勢で過ごす時間があるため、背上げ姿勢でのお尻の部分の底つきと身体のずれ対策のモードを搭載した機種を選定します	
			身体のケアや介助の際に、モードの切り替えでマットを硬く安定した床面にして介助しやすくすることができる機種を選択します	
			リハビリをベッド上で実施されるため、モードの切り替えでマットを硬くして安定した床面を提供できる機種を選定します	
			エアセルの膨張収縮の動きに違和感を感じられるため、モードの切り替えで膨張収縮の動きを小さく設定できる機種を選定します	
			発汗が多く、ムレによって皮膚がふやけているため、換気の機能がある機種を選定します	
			サイドレールの高さを確保するため、ベッドマットレス不要の機種を選定します	
			緊急時の対応に時間を要する地域のため、停電時にマット内圧を保持できる機種を選定します	
			ポンプの設定に対して誤操作の心配があるため、キーロック機能のついた機種を選定します	
			③④	
仙骨部などに床ずれがみられるため、体重設定で適切な圧管理ができるタイプのエアマットレスを選定します				
自力での寝返りが困難で床ずれの防止・ケア環境の整えが必要なため、2層式エアセルで底つきを回避する構造をもつエアマットレスを選定します				
体重が低体重の方も対象範囲とし、適切な圧管理ができる機種を選定します				
エアセルの膨張収縮の動きに違和感を感じられるため、圧切替の動きを静止する静止モードを搭載した機種を選定します				
マットレスに身体が沈み込み、緊張が強くなるのを防ぐため、過度な沈み込みを防ぐ拘縮対応モードを搭載した機種を選定します				
発汗が多く、ムレによって皮膚がふやけているため、換気の機能がある機種を選定します				
かかとに床ずれがあるため、足元部分を傾斜面で支えるかかと対策の構造をもつ機種を選定します				
床ずれのハイリスクな要因がみとめられるため、高機能タイプのエアマットレスを選定します				
体位変換の実施が困難なため、高機能タイプのエアマットレスを選定します				
ポンプの設定に対して誤操作の心配があるため、キーロック機能のついた機種を選定します				

選択番号	製品名	関連キーワード	選定理由例	留意事項
③④	ビッグセル インフィニティ	No.1 No.2 No.3 No.4 No.5 No.6 No.7 No.8 No.9 No.11 No.12	介護者の方の休息時間の確保が必要なため、圧切替タイプのエアマットレスを選定します	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ご使用の際は、必ずベッドにサイドレールを取りつけてください</li> <li>● マットレスの上で端座位や移乗する際には、必ず第三者の立ち会いのもと行ってください</li> <li>● 専用カバーは必ず装着してご使用ください</li> <li>● 設定体重以上の方は、底つきがないことを確認してご使用ください</li> <li>● 送風チューブを束ねたり専用マットの下に巻き込まないでください</li> <li>● 専用ポンプの電源コードを無理に引っ張ったり、傷つけたりしないでください</li> <li>● コンセントからプラグを抜く時には、必ず電源プラグを持って抜いてください</li> <li>● 注意ランプが点滅するなどの症状が見られた際は、ご連絡ください</li> <li>● ご使用される前に取扱説明書をお読みください</li> </ul>
			仙骨部などに床ずれがみられるため、体重設定で適切な圧管理ができるタイプのエアマットレスを選定します	
			自力での寝返りが困難で床ずれの防止・ケア環境の整えが必要なため、2層式エアセルで底つきを回避する構造をもつエアマットレスを選定します	
			かかるとに床ずれがあるため、足元部分に幅の狭い3層式エアセルのかかと対策の構造をもつ機種を選定します	
			体重が低体重の方も対象範囲とし、適切な圧管理ができる機種を選定します	
			体重による底つきの回避が必要であるため、体重設定の上限範囲が広く、二層式エアセルで底つきに対応した機種を選定します	
			1日のほとんどを背上げ姿勢で過ごされるため、角度に応じて自動でマットを適切な内圧に調圧するオート機能を搭載した機種を選定します	
			背を上げた姿勢で過ごす時間があるため、背上げ姿勢でのお尻の部分の底つきと身体のずれ対策のモードを搭載した機種を選定します	
			身体のケアや介助の際に、モードの切り替えでマットを硬く安定した床面にして介助しやすくすることができる機種を選択します	
			リハビリをベッド上で実施されるため、モードの切り替えでマットを硬くして安定した床面を提供できる機種を選定します	
			エアセルの膨張収縮の動きに違和感を感じられるため、モードの切り替えで膨張収縮の動きを小さく設定できる機種を選定します	
			マットレスに身体が沈み込み、緊張が強くなるのを防ぐため、過度な沈み込みを防ぐ拘縮対応モードを搭載した機種を選定します	
			発汗が多く、ムレによって皮膚がふやけているため、換気の機能がある機種を選定します	
			緊急時の対応に時間を要する地域のため、停電時にマット内圧を保持できる機種を選定します	
			ポンプの設定に対して誤操作の心配があるため、キーロック機能のついた機種を選定します	
床ずれのハイリスクな要因がみとめられるため、高機能タイプのエアマットレスを選定します				
体位変換の実施が困難なため、高機能タイプのエアマットレスを選定します				

## 〈株式会社シガドライ・ウィザース〉床ずれ防止用具 選定の目安

選択番号	製品名
①	スーパーフレックスA-85
②	スーパーフレックスB-100
③	スーパーウェル

選択番号	製品名	選定理由	留意事項
①	スーパーフレックス A-85	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 床ずれ予防及び軽度の床ずれに対応。</li> <li>● 自発的寝返りをサポートする適度な硬さと除圧効果を両立させています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マットレスの表面を傷つけないでください。また日干しをしないでください。</li> <li>● 火の気を避けてください。</li> </ul>
②	スーパーフレックス B-100	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 軽度から中程度に至る利用者及び中程度、さらに重度の初期段階において利用者の状態にあわせて使用します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 同上</li> </ul>
③	スーパーウェル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 床ずれ重度の利用者向けです。エアマットレスと同等の除圧効果を持たせました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 同上</li> <li>● 重いので移動時は気を付けてください。</li> </ul>

## 〈株式会社タイカ〉

選択番号	製品名
①	アルファブラすくっと
	アルファブラ
②	アルファブラ
	アルファブラF
③	アルファブラ
	アルファブラF
	アルファブラソラ
④	アルファブラF
	アルファブラソラ

選択番号	製品名	選定理由		留意点（例）
		優先すべき目標（課題）	選定理由	
①②③	アルファブラ	床ずれ対策が最優先	床ずれのリスクは高いですが柔らかく不安定なマットレス上では筋緊張が上がってしまうため、静止型で高い体圧分散性能を有し安定性のあるものを選定しました。	マットレス上には敷布団や電気毛布を敷かないでください。
			日中はベッドから離れて生活するために、動きやすくまた就寝中は体にかかる圧力を分散する効果の高いマットレスを選びました。	体圧分散性能を損なうことがありますので、できるだけシーツは薄手のものをご使用ください。
		動作	ベッド上でのリハビリを行いやすくするために、適度に反発性があり動きやすくまた床ずれの予防ができるマットレスを選びました。	体圧分散性能のあるマットレスを使用しているため、シーツは少し余裕を持たせて張り過ぎないようにして下さい。
			日中ベッドの背を上げて座位姿勢で過ごされることが多いので、マットレスがある程度沈み込んで身体を安定させ座位でも床ずれの予防ができるマットレスを選びました。	ムレを強く感じる場合は、除湿シーツなどを併用してください。
			床ずれの対策を行うため、身体にかかる圧力を分散させる能力が高く、またベッドから車いすへの移動が安定して行えるマットレスを選択しました。（エアマットでは座位不安定）	マットレス本来の体圧分散性能を損なうか可能性がありしますので、できる限り厚めのベッドパッドを併用して使用しないでください。
			腰痛によって身体を動かすことが大変なため、沈み込みが少なく体重の移動がしやすい機能を持ったマットレスを選びました。	マットレスには表裏がありますので、必ずαブラというロゴが上になるようにご使用ください。
		安楽	長時間ベッドで過ごされるため、安楽な姿勢保持ができ床ずれ予防のできるマットレスを選定しました。	マットレスには裏表がありますので、マットレスカバーを取り外す際にはご注意ください。わからない場合はお問い合わせください。
			夜間眠れないことが多いため、リラックスできて眠りやすい寝姿勢をとれる構造で床ずれ予防ができるマットレスを選定しました。	
			圧迫による痛みがあるので、その部分を包み込んで体重を分散できるマットレスを選びました。	
			背中が痛くないように（円背）、適度に柔らかく身体を包み込み仰向けでも寝ることのできるマットレスを選びました。	

選択番号	製品名	選定理由		留意点 (例)
		優先すべき目標 (課題)	選定理由	
		安楽	床ずれのリスクは高いですが、圧迫による痛みを考慮して体圧分散性能の高いウレタン製のマットレスを選びました。(エアマットで痛みを訴える方)	
			筋の緊張を緩和するリハビリを行っているため (関節拘縮のある方)、ベッド上でリラックスできるマットレスを選びました。	
			夜間に睡眠が取れることを大切に考えて (徘徊)、リラックスして眠るために寝姿勢に配慮している床ずれ防止マットレスを選びました。	
		介助	床ずれのリスクが高いため身体にかかる圧力を分散する能力に優れ、着替えなどが楽に行えるようにするため反発性があり介助者が膝をついたときに安定感のあるマットレスを選びました。	

選択番号	製品名	選定理由		留意点 (例)
		体圧分散性能以外の優先すべき目標 (課題)	選定理由	
②③④	アルファプラ F	床ずれ対策が最優先	踵に床ずれの危険性があるので、下肢にかかる圧力を分散するスリット構造をもつマットレスを選びました。	マットレス上には敷布団や電気毛布を敷かないでください。
			ベッド上での生活が長くやせていて床ずれのリスクが高いため、軽体重の方でも身体を沈み込ませ体圧を分散させることができるスリット構造をもつマットレスを選びました。	体圧分散性能を損なうことがありますので、シーツは薄手のものをご使用ください。
			床ずれのリスクが高く発汗が多いので、ムレ感の少ない通気性があるマットレスを選びました。	体圧分散性能の高いマットレスを使用しているため、シーツは少し余裕を持たせて張り過ぎないようにして下さい。
		動作	床ずれのリスクが高く日中はベッドから離れて生活するため、高い体圧分散性能を持ち、起き上がりや立ち上がり動作がしやすいようにマットレスの端が硬くなっているものを選定しました。	ムレを強く感じる場合は、除湿シーツなどを併用してください。
			ベッド上でのリハビリを行うために寝返りや起き上がりが安全、安楽にできるよう、また床ずれのリスクが高いため体圧分散性能が高く自力動作のしやすい高反発性のマットレスを選びました。	マットレス本来の体圧分散性能を損なうか可能性がありますので、できる限り厚めのベッドパッドを併用して使用しないでください。
			床ずれの危険性はあるが自分でマットレス上で動けるため、体圧分散性能が高く、動きやすいマットレスを選びました。	マットレスには表裏がありますので、必ずαプラというロゴが上になるようにご使用ください。
			麻痺があるため動ける方の足でマットレスを蹴って寝返りや起き上がりがしやすい高弾性のマットレスを選びました。	マットレスには裏表がありますので、マットレスカバーを取り外す際にはご注意ください。わからない場合はお問い合わせください。
			ベッドサイドに座り食事介助ができるようベッドの端に座っても安定性のある端の硬いマットレスを選びました。	

選択番号	製品名	選定理由		留意点（例）
		体圧分散性能以外の優先すべき目標（課題）	選定理由	
②③④	アルファプラ F	動作	車いすへの乗り移りを安全、安楽に行うため、マットの両端が硬く座位が安定し安全に乗り移りができるマットレスを選びました。	
			筋緊張が高く床ずれのリスクが高いため、リラックスした姿勢を保持できるようにマットレス内にアルファゲルを搭載したのを選びました。	
		安楽	ベッド上で過ごす時間が長く床ずれのリスクが高いため、身体にかかる圧力を分散する効果が高く寝心地のよいマットレスを選びました。	
			ベッドを長時間背上げる際の床ずれリスクの軽減と安楽な姿勢保持のために、局所にかかる圧力を分散する効果が高く姿勢を保持するためのアルファゲル内蔵のものを選定しました。	
			床ずれの悪化を防ぎ夜間安心して眠るために、身体にかかる圧力を分散させリラックスできる寝姿勢がとれる構造のマットレスを選びました。	
介助	ご本人の床ずれリスクとご家族の介助負担の軽減を考慮して、体圧分散性能が高く介助しやすいようにマットレスの端が硬くなっているマットレスを選定しました。			

選択番号	製品名	選定理由		留意点（例）
		体圧分散性能以外の優先すべき目標（課題）	選定理由	
③④	アルファプラ ソラ	床ずれ対策が最優先	高い床ずれのリスクがあり関節拘縮を予防するために、高い体圧分散性能を有しポジショニングクッションが使用しやすい安定性のあるマットレスを選定しました。	マットレス上には敷布団や電気毛布を敷かないでください。
			床ずれのリスクは高いですが寝返りができるため、身体にかかる圧力を分散する能力が高く動きやすい構造であるマットレスを選びました。	体圧分散性能は高いですが、床ずれと思われるたら連絡ください。
		動作	起き上がりや端座位保持が困難になってきており床ずれのリスクが高いため、体圧分散性能が高く少しでも自力動作ができるように安定した構造をもつマットレスを選定しました。	体圧分散性能を損なうことがありますので、シーツは薄手のものをご使用ください。
			日中はベッドから離れて生活することが多いですが体調が悪い時にはベッド上過ごす時間が多くなるため、体圧分散性能が高く、離床動作がしやすく寝心地を考慮したマットレスを選定しました。	体圧分散性能の高いマットレスを使用しているため、シーツは少し余裕を持たせて張り過ぎないようにして下さい。
			ベッドの背上げを行っている時間が長いので、座位時の体圧分散性能が高く、姿勢を安定させ安全に使用できるマットレスを選びました。	エア漏れ防止対策済みで急な停電でもエア抜けはしませんが、異常があった際には警告ランプが付きまますのでその際はご連絡ください。
			床ずれのリスクは高いですが、車いすや夜間ポータブルトイレの使用を考慮して、体圧分散性能が高く車いすやポータブルトイレへの乗り移りが安全、安楽にできる安定した構造のマットレスを選びました。	マットレスの端に座る場合は滑り落ちないようにご注意ください。
			床ずれの危険性が高く筋緊張も上がっているため、体圧分散性能が高く寝姿勢が安定し動きを妨げないマットレスを選びました。	エアホースがベッドに挟まらないように気を付けてください。また折れ曲がらないように気を付けてください。
			ベッド上で過ごされているため、体圧分散性能が高く安定感があり安楽な寝姿勢を取ることができるマットレスを選定しました。	
		安楽	エアマットによる痛みを緩和するために、エアセル膨縮時の圧迫感や波動を感じるものが少なく体圧分散性能の高いマットレスを選定しました。	
			床ずれのリスクが高いことと夜間眠れないことが多いということから、体にかかる圧力を分散する能力が高く眠りを妨げないようにできるだけ普通のマットレスに近い構造のものを選びました。	
			介助	床ずれの発生とご家族の介助負担の軽減を考慮して、体圧分散性能が高く介助しやすいようにマットレスの端が硬くなっているハイブリッドマットレスを選定しました。
		床ずれのリスクが高いので、コンピュータで動かす高機能マットレスですが操作が難しくないので選びました。		

## 〈パラマウントベッド株式会社〉床ずれ防止用具 選定の目安

選択番号	製品名
①	アクアフロートマットレス
②	アクアフロートマットレス、コンフォケアマットレス、パラフロートマットレス、マキシーフロートマットレス、アキュマックスマットレス、
③	アクアフロートマットレス、パラフロートマットレス、マキシーフロートマットレス、アキュマックスマットレス、ここちあ
④	ここちあ

選択番号	製品名	選定理由	留意事項
①②③	アクアフロートマットレス	自立度を維持しながら、臀部の床ずれリスクを軽減できるマットレスを選びました。(体圧分散性能+動きやすさの両立)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ベッドサイドレール・スイングアーム介助バーなどとエアマットレス、ベッドのすき間に身体をはさまれないように注意してください。</li> <li>●乗り降りの際の滑り落ちに注意してください。</li> <li>●ベッドサイドレール使用時も、ベッドからの転落に注意してください。</li> <li>●ご使用前に取扱説明書をお読みください。</li> </ul>
		かかと部の床ずれリスクを軽減できるマットレスを選びました。	
		車いすへの移乗や端座位を安全に実施するため、端座位が安定するマットレスを選びました。	
		ベッドからの転落が予想されるため、柵の有効高さが確保でき、かつ圧分散性能に優れたマットレスを選定しました。	
		失禁があるため、液体の進入を防ぎ、かつ次亜塩素酸（ミルトンなど）で清拭消毒できるマットレスを選びました。	
		汗をかきやすいため、通気性のあるマットレスを選びました。	
ミニサイズのベッドに適合する床ずれ予防マットレスを選びました。			
②	コンフォケアマットレス	自立度を維持しながら、床ずれリスクを軽減できるマットレスを選びました。(体圧分散性能+動きやすさの両立)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ベッドサイドレール・スイングアーム介助バーなどとエアマットレス、ベッドのすき間に身体をはさまれないように注意してください。</li> <li>●乗り降りの際の滑り落ちに注意してください。</li> <li>●ベッドサイドレール使用時も、ベッドからの転落に注意してください。</li> <li>●ご使用前に取扱説明書をお読みください。</li> </ul>
		マットレス上でのズレかを軽減できるマットレスを選びました。	
		失禁があるため、液体の進入を防ぎ、かつ次亜塩素酸（ミルトンなど）で清拭消毒できるマットレスを選びました。	
②③	パラフロートマットレス	これまでの寝心地から大きく変化することのないよう、布団の寝心地に似た、体圧分散マットレスを選びました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ベッドサイドレール・スイングアーム介助バーなどとエアマットレス、ベッドのすき間に身体をはさまれないように注意してください。</li> <li>●乗り降りの際の滑り落ちに注意してください。</li> <li>●ベッドサイドレール使用時も、ベッドからの転落に注意してください。</li> <li>●ご使用前に取扱説明書をお読みください。</li> </ul>
		汗をかきやすいため、通気性があり、かつ洗濯などの扱いがしやすいマットレスを選びました。	

選択番号	製品名	選定理由	留意事項
②③	マキシーフロートマットレス	床ずれリスクを軽減できるマットレスを選びました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ベッドサイドレール・スイングアーム介助バーなどとエアマットレス、ベッドのすき間に身体をはさまれないように注意してください。</li> <li>●乗り降りの際の滑り落ちに注意してください。</li> <li>●ベッドサイドレール使用時も、ベッドからの転落に注意してください。</li> <li>●ご使用前に取扱説明書をお読みください。</li> </ul>
		かかと部の床ずれリスクを軽減できるマットレスを選びました。	
		失禁があるため、液体の進入を防ぎ、かつ次亜塩素酸（ミルトンなど）で清拭消毒できるマットレスを選びました。	
		マットレス上でのズレかを軽減できるマットレスを選びました。	
②③	アキュマックスマットレス	自立度を維持しながら、床ずれリスクを軽減できるマットレスを選びました。（体圧分散性能＋動きやすさの両立）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ベッドサイドレール・スイングアーム介助バーなどとエアマットレス、ベッドのすき間に身体をはさまれないように注意してください。</li> <li>●乗り降りの際の滑り落ちに注意してください。</li> <li>●ベッドサイドレール使用時も、ベッドからの転落に注意してください。</li> <li>●ご使用前に取扱説明書をお読みください。</li> </ul>
		かかと部の床ずれリスクを軽減できるマットレスを選びました。	
		車いすへの移乗や端座位を安全に実施するため、端座位が安定するマットレスを選びました。	
		失禁があるため、液体の進入を防ぎ、かつ次亜塩素酸（ミルトンなど）で清拭消毒できるマットレスを選びました。	
		マットレス上でのズレかを軽減できるマットレスを選びました。	
④	ここちあ	臀部の床ずれリスクが高いため、臀部をより除圧できるマットレスを選びました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●エアマットレスは使用する方の容態に合わせて使用し、治療中の方は医師に相談をしてください。</li> <li>●ベッドサイドレール・スイングアーム介助バーなどとエアマットレス、ベッドのすき間に身体をはさまれないように注意してください。</li> <li>●乗り降りの際の滑り落ちに注意してください。</li> <li>●ベッドサイドレール使用時も、ベッドからの転落に注意してください。</li> <li>●電気毛布などの電気機器とエアマットレスを併用しないでください。</li> <li>●使用目的に合わせて各種設定をしてください。</li> <li>●ご使用前に取扱説明書をよくお読みください。</li> </ul>
		ギャッチアップしている時間が長いため、ギャッチアップ時の臀部の低圧保持と、圧切替機能を維持できるものを選定しました。	
		エアマットレスの制御による船酔い感を経験されているため、頭部を揺らさずに圧切替機能をもつマットレスを選定しました。	
		ベッド上りハビリを安定したマットレス面のできるマットレスを選びました。	
		車いすへの移乗を安全に実施するため、安定したマットレス面になるマットレスを選びました。	
		汗をかきやすいため、除湿機能のあるマットレスを選びました。	
		失禁があるため、液体の進入を防ぎ、かつ次亜塩素酸（ミルトンなど）で清拭消毒できるマットレスを選びました。	
		ミニサイズのベッドに適合する床ずれ予防マットレスを選びました。	
		スペースが限られるため、できるだけコンパクトな用具を選定しました。	
		車いすの動線や、介助者の動線を確保するため、ポンプが露出しないマットレスを選定しました。	
		ベッドからの転落が予想されるため、柵の有効高さが確保でき、かつ圧分散性能に優れたマットレスを選定しました。	
		介護負担を配慮して、初期設定をすれば、自動的に圧力制御ができるマットレスを選びました。	

## 〈株式会社モルテン〉床ずれ防止用具 選定の目安

選択番号	製品名
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 静止型マットレス：ピュアレックス 10、ナッキー、ナッソー</li> <li>● 圧切替型エアマットレス：該当なし</li> <li>● 自動体位変換エアマットレス：該当なし</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 静止型マットレス：ピュアレックス 10、ナッキー、ナッソー、</li> <li>● 圧切替型エアマットレス：プライムST、プライムDX、プライムレボ、アドバン、グランデ、ステージア、オスカー</li> <li>● 自動体位変換エアマットレス：スーパー介助マット、クレイド</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 静止型マットレス：ピュアレックス 10、ナッキー、ナッソー</li> <li>● 圧切替型マットレス：プライムST、プライムDX、プライムレボ、アドバン、グランデ、ステージア、オスカー</li> <li>● 自動体位変換エアマットレス：スーパー介助マット、クレイド</li> </ul>
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 静止型マットレス：該当なし</li> <li>● 圧切替型エアマットレス：プライムレボ、アドバン、グランデ、ステージア、オスカー</li> <li>● 自動体位変換エアマットレス：クレイド</li> </ul>

### ● 静止型マットレス

選択番号	製品名	選定理由	留意事項
①②③	ピュアレックス 10	床ずれ対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3分割構造のため、3枚とも正しく連結されていることを確認し設置してください。</li> <li>● 取扱説明書をよく読んでご使用ください。</li> </ul>
		ADL (日常生活動作)	
		介護負担の軽減	
①②③	ナッキー	床ずれ対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設置の際、ロゴのある面が上になるよう正しく設置してください。</li> <li>● 取扱説明書をよく読んでご使用ください。</li> </ul>
		ADL (日常生活動作)	
		介護負担の軽減	
	QOL (利用者様)	⑤ エアマットレスを嫌がられるため、厚手の〈静止型〉マットレスで特に〈体圧分散性能〉の高いものを選定します。	

選択番号	製品名	選定理由		留意事項
①②③	ナッソー	床ずれ対策	① ベッド上での背上げ頻度が高いため、〈体圧分散性能〉が高く、背上げ時に背中にかかる苦しさを低減できる〈背上げ対策機能〉がある厚手の〈静止型〉マットレスを選定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設置の際、ロゴのある面が上になるよう正しく設置してください。</li> <li>● 背上げ対策機能が発揮されるようマットレス頭側に空間があることを確認し、正しく設置してください。</li> <li>● 取扱説明書をよく読んでご使用ください。</li> </ul>
			② 軽度の床ずれがあるため、〈体圧分散性能〉が高く、さらにベッド上で介護しやすい安定性もある厚手の〈静止型〉マットレスを選定します。	
		ADL (日常生活動作)	③ 自力で離床や寝返りはできないが、多少は体を動かせるため、〈体圧分散性能〉が高く、ベッド上での動きを妨げない安定性もある、厚手の〈静止型〉マットレスを選定します。	
			④ 日中は離床する頻度が高いため、〈体圧分散性能〉が高く、立ち上がりや移乗のための端座位の安定性も高い厚手の〈静止型〉マットレスを選定します。	
		介護負担の軽減	⑤ 〈体圧分散性能〉が高く、ベッド上での介護のしやすさが特に優れている、厚手の〈静止型〉マットレスを選定します。	
QOL (利用者様)	⑥ エアマットレスを嫌がられるため、厚手の〈静止型〉マットレスで特に〈体圧分散性能〉の高いものを選定します。			

● 圧切替型エアマットレス

選択番号	製品名	選定理由		留意事項
②③	プライムST	床ずれ対策	① 骨突出などの床ずれ発生リスクがあるため、〈体圧分散性能〉や〈圧切替モード〉による除圧性能があり、ベッド上での動きを妨げない安定性もある薄手(オーバーレイタイプ)のエアマットレスを選定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用者様の体重・身体状況に合わせて正しく体重設定を行ってください。</li> <li>● オーバーレイタイプのエアマットレスのため、ベッドに直接設置せず、必ずベースマットレスの上に設置してください。</li> <li>● 取扱説明書をよく読んでご使用ください。</li> </ul>
			② 軽度の床ずれがあるため、〈体圧分散性能〉や〈圧切替モード〉による除圧性能があり、さらにベッド上での介護のしやすさを考慮して安定性もある薄手(オーバーレイタイプ)のエアマットレスを選定します。	
			③ 身体状態が変化しやすいため、〈体圧分散性能〉があり、〈圧切替モード〉による除圧性能がある薄手(オーバーレイタイプ)のエアマットレスを選定します。	
		ADL (日常生活動作)	④ 自力で離床や寝返りはできないが、多少は体を動かせるため、体圧分散性能や除圧性能が高く、ベッド上での動きを妨げない安定性もある〈薄手〉のエアマットレスを選定します。	
			⑤ 日中は離床する場合があるため、体圧分散性能や除圧性能が高く、立ち上がりや移乗のための端座位の安定性もある〈薄手〉のエアマットレスを選定します。	
		介護負担の軽減	⑥ ベッド上での介護がしやすい安定性があり、体圧分散性能や除圧性能もある、〈薄手〉のエアマットレスを選定します。	
		既存福祉用具の活用	⑦ 現在所有しているベッドマットレスを有効活用するため、〈オーバーレイタイプ〉のエアマットレスを選定します。	

選択番号	製品名	選定理由		留意事項
②③	プライムDX	床ずれ対策	① 骨突出などの床ずれ発生リスクがあるため、〈体圧分散性能〉や〈圧切替モード〉による除圧性能があり、ベッド上での動きを妨げない安定性もある薄手（オーバーレイタイプ）のエアマットレスを選定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者様の体重・身体状況に合わせて正しく体重設定を行ってください。</li> <li>●オーバーレイタイプのエアマットレスのため、ベッドに直接設置せず、必ずベースマットレスの上に設置してください。</li> <li>●取扱説明書をよく読んでご使用ください。</li> </ul>
			② 軽度の床ずれがあるため、〈体圧分散性能〉や〈圧切替モード〉による除圧性能があり、さらにベッド上での介護のしやすさを考慮して安定性もある薄手（オーバーレイタイプ）のエアマットレスを選定します。	
			③ 身体状態が変化しやすいため、〈体圧分散性能〉があり、〈圧切替モード〉による除圧性能がある薄手（オーバーレイタイプ）のエアマットレスを選定します。	
		ADL（日常生活動作）	④ 自力で離床や寝返りはできないが、多少は体を動かせるため、体圧分散性能や除圧性能が高く、ベッド上での動きを妨げない安定性もある〈薄手〉のエアマットレスを選定します。	
		介護負担の軽減	⑤ 日中は離床する場合があるため、体圧分散性能や除圧性能が高く、立ち上がりや移乗のための端座位の安定性もある〈薄手〉のエアマットレスを選定します。	
		既存福祉用具の活用	⑥ ベッド上での介護がしやすい安定性があり、体圧分散性能や除圧性能もある、〈薄手〉のエアマットレスを選定します。	
			⑦ 現在所有しているベッドマットレスを有効活用するため、〈オーバーレイタイプ〉のエアマットレスを選定します。	
②③④	プライムレボ	床ずれ対策	① 骨突出などの床ずれ発生リスクがあるため、〈体圧分散性能〉や〈圧切替モード〉による除圧性能があり、ベッド上での動きを妨げない安定性もある薄手（オーバーレイタイプ）の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者様の体重・身体状況に合わせて正しく体重設定を行ってください。</li> <li>●オーバーレイタイプのエアマットレスのため、ベッドに直接設置せず、必ずベースマットレスの上に設置してください。</li> <li>●設置の際、ロゴのある面が上になるよう正しく設置してください。</li> <li>●取扱説明書をよく読んでご使用ください。</li> </ul>
			② 軽度の床ずれがあるため、〈体圧分散性能〉や〈圧切替モード〉による除圧性能があり、さらにベッド上での介護のしやすさを考慮して安定性もある薄手（オーバーレイタイプ）の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			③ 身体状態が変化しやすいため、体圧分散性能や除圧性能が高く、かたさの調整が可能で〈圧切替モード〉と〈静止型モード〉の動作選択ができる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			④ 日中はベッドを背上げた状態で過ごされる時間が長い場合、セルの〈底着き防止構造〉でベッド背上げ時の底着きを常に防止できる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	

選択番号	製品名	選定理由		留意事項
②③④	プライムレボ	ADL (日常生活動作)	⑤ 自力で離床や寝返りはできないが、多少は体を動かせるため、体圧分散性能や除圧性能が高く、ベッド上での動きを妨げない安定性もある〈薄手〉の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			⑥ 日中は離床する場合があるため、体圧分散性能や除圧性能が高く、立ち上がりや移乗のための端座位の安定性がある〈薄手〉の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
		介護負担の軽減	⑦ ベッド上での介護がしやすい安定感があり、おむつ交換やリハビリ時には安定性を高めるため、マットレスのかたさをワンタッチで簡単に設定できる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
		QOL (利用者様)	⑧ エアマットレスの圧切替の動きで痛みを訴えられたり、状態によりエアマットレスの圧切替の動きを気にされることがあるため、〈静止型モード〉への切替ができる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			⑨ 汗が多く寝度内がむれやすいため、体圧分散性能や除圧性能が高く、〈むれ対策〉ができる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
既存福祉用具の活用	⑩ 現在所有しているベッドマットレスを有効活用するため、〈オーバーレイタイプ〉のエアマットレスを選定します。			

選択番号	製品名	選定理由		留意事項
②③④	アドバン	床ずれ対策	① 骨突出や下肢拘縮などの床ずれ発生リスクがあるため、〈体圧分散性能〉や〈圧切替モード〉による除圧性能の高さを優先し、厚手の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者様の体重・身体状況に合わせて動作および身体保持モードの設定を行ってください。</li> <li>●設置の際、ロゴのある面が上になるよう正しく設置してください。</li> <li>●取扱説明書をよく読んでご使用ください。</li> </ul>
			② 軽度～高度の床ずれがあるため、〈体圧分散性能〉や〈圧切替モード〉による除圧性能の高さを優先し、厚手の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			③ 日中はベッドを背上げた状態で過ごされる時間が長いため、セルの〈底着き防止構造〉でベッド背上げ時の底着きを常に防止できる厚手の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			④ 身体状態が変化しやすいため、体圧分散性能や除圧性能が高く、かたさの調整が可能で〈圧切替モード〉と〈静止型モード〉の動作選択ができる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
		ADL (日常生活動作)	⑤ 自力で離床や寝返りはできないが、多少は体を動かせるため、ベッド上での動きやすさを考慮し、厚手のエアマットレスの中でも〈安定性〉のある〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			⑥ 身体状態が変化しやすいため、身体状態に応じてマットレスの〈厚さ変更〉ができる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
		介護負担の軽減	⑦ 介護のしやすさを考慮し、厚手のエアマットレスの中でも〈安定性〉のある〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			⑧ ベッド上での介護がしやすい安定性があり、おむつ交換やリハビリ時には安定性を高めるため、マットレスの厚みとかたさをワンタッチで簡単に設定できる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
		QOL (利用者様)	⑨ エアマットレスの圧切替の動きで痛みを訴えられたり、状態によりエアマットレスの圧切替の動きを気にされることがあるため、〈静止型モード〉への切替ができる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			⑩ 汗が多く寝度内がむれやすいため、体圧分散性能や除圧性能が高く、〈むれ対策〉ができる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	

選択番号	製品名	選定理由		留意事項
②③④	グランデ	床ずれ対策	① 骨突出や下肢拘縮などの <b>床ずれ発生リスク</b> があるため、〈体圧分散性能〉や〈圧切替モード〉による除圧性能の高さを優先し、厚手の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者様の身体状況に合わせて、正しく設定してください。</li> <li>●設置の際、ロゴのある面が上になるよう正しく設置してください。</li> <li>●ベッドの背上げ時は、必ず【背上げモード】に設定してください。</li> <li>●取扱説明書をよく読んでご使用ください。</li> </ul>
			② 軽度～高度の <b>床ずれがある</b> ため、〈体圧分散性能〉や〈圧切替モード〉による除圧性能の高さを優先し、厚手の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			③ <b>日中はベッドを背上げた状態で過ごす</b> 時間が長い場合、セルの〈底着き防止構造〉によりベッド背上げ時の底着きを常に防止でき、さらに簡単に背上げ姿勢に対応できる〈背上げモード〉のある、厚手の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			④ <b>身体状態が変化しやすい</b> ため、状態に応じて簡単に間違いない設定ができる、〈自動フィッティング機能〉のある〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			⑤ <b>身体状態が変化しやすい</b> ため、体圧分散性能や除圧性能が高く、かたさの調整が可能で〈圧切替モード〉と〈静止型モード〉の動作選択ができる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
		ADL (日常生活動作)	⑥ <b>自力で離床や寝返りはできないが、多少は体を動かせる</b> ため、ベッド上での動きやすさを考慮し、厚手のエアマットレスの中でも〈安定性〉のある〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			⑦ <b>身体状態が変化しやすい</b> ため、身体状態に応じてマットレスの〈厚さ変更〉ができる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
		介護負担の軽減	⑧ <b>介護のしやすさを</b> 考慮し、厚手のエアマットレスの中でも〈安定性〉のある〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			⑨ <b>ベッド上での介護がしやすい安定性</b> があり、おむつ交換やリハビリがしやすいマットレスかたさに簡単に設定ができる〈リハビリモード〉のある、〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
		QOL (利用者様)	⑩ <b>エアマットレスの圧切替の動きで痛みを訴えられたり、状態によりエアマットレスの圧切替の動きを気にされる</b> ことがあるため、〈静止型モード〉への切替ができる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			⑪ <b>汗が多く寝度内がむれやすい</b> ため、体圧分散性能や除圧性能が高く、〈むれ対策〉ができる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
安全対策	⑫ <b>認知症がある・子どもと同居している</b> など、 <b>ポンプを誤操作する可能性</b> があるため、ボタン操作ができないよう〈操作ロック〉機能のある〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。			
	⑬ <b>長時間の停電時</b> でも〈底着き防止構造〉により空気が抜けにくく〈停電対策〉がされている厚手の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。			

選択番号	製品名	選定理由		留意事項
②③④	ステージア	床ずれ対策	① 骨突出などの床ずれ発生リスクがあるため、〈体圧分散性能〉や〈圧切替モード〉による除圧性能があり、ベッド上での動きを妨げない安定性もある薄手の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者様の体重・身体状況に合わせて動作および身体保持モードの設定を行ってください。</li> <li>●設置の際、ロゴのある面が上になるよう正しく設置してください。</li> <li>●取扱説明書をよく読んでご使用ください。</li> </ul>
			② 軽度の床ずれがあるため、〈体圧分散性能〉や〈圧切替モード〉による除圧性能があり、さらにベッド上での介護のしやすさを考慮して安定性もある薄手の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			③ 日中はベッドを背上げた状態で過ごされる時間が長い場合、エアとウレタンの〈ハイブリット構造〉によりベッド背上げ時の底着きを常に防止できる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			④ 身体状態が変化しやすいため、体圧分散性能や除圧性能が高く、かたさの調整が可能で〈圧切替モード〉と〈静止型モード〉の動作選択ができる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
		ADL (日常生活動作)	⑤ 自力で離床や寝返りはできないが、多少は体を動かせるため、体圧分散性能や除圧性能が高く、ベッド上での動きを妨げない高い安定性もある〈薄手〉の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			⑥ 日中は離床する場合があるため、体圧分散性能や除圧性能が高く、立ち上がりや移乗のための端座位の安定性が特に優れている〈薄手〉の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
		介護負担の軽減	⑦ 介護のしやすさを考慮し、薄手のエアマットレスの中でも特に〈安定性〉のある〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			⑧ ベッド上での介護がしやすい安定性があり、おむつ交換やリハビリがしやすいマットレスかたさに簡単に設定ができる〈リハビリモード〉のある、薄手の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
		QOL (利用者様)	⑨ エアマットレスの圧切替の動きで痛みを訴えられたり、状態によりエアマットレスの圧切替の動きを気にされることがあるため、〈静止型モード〉への切替ができる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			⑩ 汗が多く寝度内がむれやすいため、体圧分散性能や除圧性能が高く、〈むれ対策〉ができる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			⑪ エアマットレス特有のひえを訴えられるため、体圧分散性能や除圧性能が高く、特に〈ひえ対策〉に優れた〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
		安全対策	⑫ 認知症がある・子どもと同居しているなど、リモコンを誤操作する可能性があるため、ボタン操作ができないよう〈操作ロック〉機能のある〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			⑬ 長時間の停電時でもエアとウレタンの〈ハイブリット構造〉により底着きを防止できるよう〈停電対策〉がされている〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	

選択番号	製品名	選定理由	留意事項
②③④	オスカー	<p>床ずれ対策</p> <p>① 骨突出や下肢拘縮などの<b>床ずれ発生リスクがある</b>ため、〈圧切替モード〉による除圧効果に加え、〈自動体位変換機能〉による除圧効果もあり最高の除圧性能で対応ができる、〈自動体位変換機能付き〉の厚手の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。</p> <p>② 軽度～高度の<b>床ずれがある</b>ため、〈圧切替モード〉による除圧効果に加え、〈自動体位変換機能〉による除圧効果もあり最高の除圧性能で対応ができる、〈自動体位変換機能付き〉の厚手の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。</p> <p>③ 骨突出や下肢拘縮などの<b>床ずれ発生リスクがある</b>ため、〈体圧分散性能〉や〈圧切替モード〉による除圧性能の高さを優先し、厚手の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。</p> <p>④ 軽度～高度の<b>床ずれがある</b>ため、〈体圧分散性能〉や〈圧切替モード〉による除圧性能の高さを優先し、厚手の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。</p> <p>⑤ <b>日中はベッドを背上げた状態で過ごす時間が長い</b>ため、エアとウレタンの〈ハイブリット構造〉によりベッド背上げ時の底着きを常に防止でき、さらに簡単に背上げ姿勢に対応できる〈背上げモード〉のある、厚手の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。</p> <p>⑥ <b>身体状態が変化しやすい</b>ため、状態に応じて簡単に間違いのない設定ができる、〈自動フィッティング機能〉のある〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。</p> <p>⑦ <b>身体状態が変化しやすい</b>ため、体圧分散性能や除圧性能が高く、かたさの調整が可能で〈圧切替モード〉と〈静止型モード〉の動作選択ができる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。</p> <p>⑧ <b>身体状態が変化しやすい</b>ため、高い〈体圧分散性能〉と〈除圧性能〉がありながら〈安定性〉も特に高く、必要なときには体位変換もできる、〈自動体位変換機能付き〉の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。</p> <p>⑨ <b>家族による確実な体位変換が難しく、体位変換による除圧が十分に行えない</b>ため、効果的な体位変換が確実にできる、〈自動体位変換機能付き〉の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。</p> <p>⑩ <b>老老介護で体位変換が困難で、体位変換による除圧が十分に行えない</b>ため、効果的な体位変換が確実にできる、〈自動体位変換機能付き〉の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用者様の身体状況に合わせて、正しく設定してください。</li> <li>●設置の際、ロゴのある面が上になるよう正しく設置してください。</li> <li>●ベッドの背上げ時は、必ず【背上げモード】に設定してください。</li> <li>●取扱説明書をよく読んでご使用ください。</li> </ul>
		<p>ADL (日常生活動作)</p> <p>⑪ <b>自力で離床や寝返りはできないが、多少は体を動かせる</b>ため、ベッド上での動きやすさを考慮し、厚手のエアマットレスの中でも特に〈安定性〉のある〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。</p>	

選択番号	製品名	選定理由		留意事項
②③④	オスカー	介護負担の軽減	⑫ 介護のしやすさを考慮し、厚手のエアマットレスの中でも特に〈安定性〉のある〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			⑬ ベッド上での介護がしやすい安定性があり、おむつ交換やリハビリがしやすいマットレスかたさに簡単に設定ができる〈リハビリモード〉がある、〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			⑭ 人手での体位変換による介護負担を軽減するため、〈自動体位変換機能付き〉の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			⑮ 老老介護で、人手での体位変換が負担となるため、介護負担を軽減するために〈自動体位変換機能付き〉の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
		QOL (利用者様)	⑯ エアマットレスの圧切替の動きで痛みを訴えられたり、状態によりエアマットレスの圧切替の動きを気にされることがあるため、〈静止型モード〉への切替ができる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			⑰ 夜間の体位変換による利用者様の睡眠障害を防ぐため、〈自動体位変換機能付き〉の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			⑱ 汗が多く寝度内がむれやすいため、体圧分散性能や除圧性能が高く、〈むれ対策〉ができる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			⑲ エアマットレス特有のひえを訴えられるため、体圧分散性能や除圧性能が高く、特に〈ひえ対策〉に優れた〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
		QOL (介護者)	⑳ 夜間の体位変換による介護者の睡眠障害を防ぐため、〈自動体位変換機能付き〉の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
		安全対策	㉑ 認知症がある・子どもと同居しているなど、リモコンを誤操作する可能性があるため、ボタン操作ができないよう〈操作ロック〉機能のある〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
㉒ 長時間の停電時でもエアとウレタンの〈ハイブリット構造〉により底着きを防止できるよう〈停電対策〉がされている厚手の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。				

● 自動体位変換エアマットレス

選択番号	製品名	選定理由	留意事項	
②③	スーパー介助マット	床ずれ対策	<p>① 家族による確実な体位変換が難しく、体位変換による除圧が十分に行えないため、効果的な体位変換が確実にできる、〈自動体位変換機能付き〉のエアマットレスを選定します。</p> <p>② 老老介護で体位変換が困難で、体位変換による除圧が十分に行えないため、効果的な体位変換が確実にできる、〈自動体位変換機能付き〉のエアマットレスを選定します。</p> <p>③ 身体状態が変化しやすいため、〈体圧分散性能〉があり、〈圧切替モード〉による除圧性能があるエアマットレスを選定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用者様の体重・身体状況に合わせて正しく体重設定を行ってください。</li> <li>● オーバーレイタイプのエアマットレスのため、ベッドに直接設置せず、必ずベースマットレスの上に設置してください。</li> <li>● ベッドの背上げ時は、必ず【仰臥位モード】に設定してください。</li> <li>● 取扱説明書をよく読んでご使用ください。</li> </ul>
		介護負担の軽減	<p>④ ベッド上での介護がしやすい安定性があり、体圧分散性能や除圧性能もある、〈薄手〉のエアマットレスを選定します。</p> <p>⑤ 人手での体位変換による介護負担を軽減するため、〈自動体位変換機能付き〉のエアマットレスを選定します。</p> <p>⑥ 老老介護で、人手での体位変換が負担となるため、介護負担を軽減するために〈自動体位変換機能付き〉のエアマットレスを選定します。</p>	
		QOL (利用者様)	⑦ 夜間の体位変換による利用者様の睡眠障害を防ぐため、〈自動体位変換機能付き〉のエアマットレスを選定します。	
		QOL (介護者)	⑧ 夜間の体位変換による介護者の睡眠障害を防ぐため、〈自動体位変換機能付き〉のエアマットレスを選定します。	
		既存福祉用具の活用	⑨ 現在所有しているベッドマットレスを有効活用するため、〈オーターレイタイプ〉のエアマットレスを選定します。	
②③④	クレイド	床ずれ対策	<p>① 家族による確実な体位変換が難しく、体位変換による除圧が十分に行えないため、効果的な体位変換が確実にできる、〈自動体位変換機能付き〉の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。</p> <p>② 老老介護で体位変換が困難で、体位変換による除圧が十分に行えないため、効果的な体位変換が確実にできる、〈自動体位変換機能付き〉の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。</p> <p>③ 骨突出や下肢拘縮などの床ずれ発生リスクがあるため、〈体圧分散性能〉や〈圧切替モード〉による除圧性能の高さを優先し、厚手の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。</p> <p>④ 軽度～高度の床ずれがあるため、〈体圧分散性能〉や〈圧切替モード〉による除圧性能の高さを優先し、厚手の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。</p> <p>⑤ 日中はベッドを背上げた状態で過ごされる時間が長い場合、セルの〈底着き防止構造〉でベッド背上げ時の底着きを常に防止できる厚手の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用者様の体重・身体状況に合わせて動作および身体保持モードの設定を行ってください。</li> <li>● 設置の際、ロゴのある面が上になるよう正しく設置してください。</li> <li>● ベッドの背上げ時は、必ず体位保持を【フラット】に設定してください。</li> <li>● 取扱説明書をよく読んでご使用ください。</li> </ul>

選択番号	製品名	選定理由		留意事項
②③④	クレイド		⑥ 身体状態が変化しやすいため、体圧分散性能や除圧性能が高く、かたさの調整が可能で〈圧切替モード〉と〈静止型モード〉の動作選択ができる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
		介護負担の軽減	⑦ 人手での体位変換による介護負担を軽減するため、〈自動体位変換機能付き〉の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			⑧ 老老介護で、人手での体位変換が負担となるため、介護負担を軽減するために〈自動体位変換機能付き〉の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
		QOL (利用者様)	⑨ エアマットレスの圧切替の動きで痛みを訴えられたり、状態によりエアマットレスの圧切替の動きを気にされることがあるため、〈静止型モード〉への切替ができる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
			⑩ 夜間の体位変換による利用者様の睡眠障害を防ぐため、〈自動体位変換機能付き〉の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。	
QOL (介護者)	⑪ 汗が多く寝度内がむれやすいため、体圧分散性能や除圧性能が高く、〈むれ対策〉ができる〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。			
	⑫ 夜間の体位変換による介護者の睡眠障害を防ぐため、〈自動体位変換機能付き〉の〈高機能タイプ〉のエアマットレスを選定します。			

床ずれ小冊子  
作成小委員会

- |        |                                |
|--------|--------------------------------|
| 木下 雅史  | いわしや医療株式会社 名古屋営業所長             |
| 勝浦 由美子 | 株式会社ケーブ R&D部 マーケティンググループ 主任    |
| 高木 聖和  | 株式会社シガドライウィザーズ 東京支店長           |
| 渡邊 真一  | 株式会社タイカ ウエルネス用品部 ホスピタルケア統括リーダー |
| 廣瀬 和子  | パラマウントベッド株式会社 営業本部 担当課長        |
| 三村 真季  | 株式会社モルテン 健康用品事業部 R&D本部部長       |

発行 平成24年12月

公益財団法人テクノエイド協会

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸 1-1 セントラルプラザ 4階  
TEL 03-3266-6880 FAX 03-3266-6885

この情報誌は、大阪府民共済生活協同組合から社会福祉法人中央共同募金会を通じた寄付金及び全国労働者共済生活協同組合連合会からの助成金で作成しました。